

confidential



SHOESHINE GRAND PRIX
2026

ルール&審査項目について(Team部門)
-Rules & Examination items of TEAM SECTION-

磨く靴や道具

後述の詳細をご参照ください

制限時間 (磨く時間)

12分間

審査方法 審査員

各試合毎に磨いた靴と磨く前の靴を展示し、有料観客席の方が投票形式にて審査を行う。
磨きの仕上がりや磨きの様子を踏まえ、このチームに磨いて欲しいというチームに投票する。
各試合毎に審査員お一人合計3点を用いて採点。
(1チームに3点入れても、分散もどちらでも可)

競技の流れ

磨く靴の確認→テーマの発表→使用する道具選び→
磨く選手を決める→磨き→プレゼンテーションタイム(1分間)

その他のルール

- ・磨く方はタスキを掛けて磨きを行う。(磨きを交代する際はタスキを渡す)
- ・磨く靴に触れる又は磨くことが出来るのはタスキを掛けた方のみ。
- ・周りの方は道具などに触ることは可能。(混ぜたり、ほぐしたりも可能)
- ・各試合にて磨きを行うメンバーのみがステージに入場可能。
- ・各試合に出場する選手は必ずどこかでタスキを受けなくてはならない。

	項目	詳細
運営側で 準備する モノ	使用する靴	大会本部は準備したシューズ (サイズ、状態、カラーなどは異なります)
	クリーム等の磨き に使用する用品	大会認定用品 (乳化性クリーム、ワックス、クリーナーなど別紙参照)
	磨き台	W900×H1100×D450の磨き台を1台ずつ準備はするが磨くスタイルは自由
選手が 持ち込み 可能なモノ	ブラシ	個数及び素材は自由 (禁止事項: 予め溶剤や水分等を含ませたもの。乾燥した状態に限る)
	クロス	枚数及び素材は自由 (禁止事項: 予め溶剤や水分等を含ませたもの。乾燥した状態に限る)
	その他	磨き椅子、ハンドラップ、水など必要なモノ (禁止事項: 電源を要するモノ、火気厳禁のモノ、自身の磨きスペースを越えるモノ)

靴とテーマ

磨き方

どんな靴を、どんなテーマで磨くか

誰が、どうやって、磨くか

ウィングチップシューズ
(生成色)

テーマ：大会のプレゼンテーション審査員のどなたかが
デニムパンツに合わせる際の磨き

片足12分間
3名以上での交代制
(交代タイミング及び回数は自由)

Uチップブーツ
(グリーン)

テーマ：昨年までプレゼンテーション審査員を務めた
鈴木理也さんに向けた磨き

片足12分間
3名以上での交代制
(交代タイミング及び回数は自由)

一試合目

二試合目

一試合目

ウィングチップシューズ (生成色)

テーマ：大会のプレゼンテーション審査員のどなたかが
デニムパンツに合わせる際の磨き



二試合目

Uチップブーツ (グリーン)

テーマ：昨年までプレゼンテーション審査員を務めた
鈴木理也さんに向けた磨き



その他

- ・シューツリーは競技が始まる前に靴の中に入れていただいても構いません。
- ・靴の紐は競技前に解く又は外していただいても構いません。(モンクストラップに関しては外していただいても構いません。)
- ・磨きに使う道具(大会側が準備しているクリームやWAXなど)で同じアイテムを2個以上使用することはできません。
- ・ハンドラップ等で使用する水は各チームでご準備してください。
- ・競技で使用しなかった道具は道具コーナーに返却してください。
- ・競技中に追加の道具が必要になった場合は取りに戻っていただいても構いません。
- ・ご自身の磨き台に到着しましたら、磨きの準備を始めてください。磨き道具の蓋は外していただいても構いませんが中身に触れるのは禁止です。
- ・靴に触れることができるのはタスキを掛けている選手のみです。
- ・周りの選手は道具を準備したり、磨く選手に渡したりすることは可能です。
- ・プレゼンテーションを行う方は全員でも代表者一名でもチームメンバーであればどなたでも可能です。